

潮の香かおる長門のまちに、春がおとずれ、大地は新しい息吹に包まれています。

まずは一六一名の生徒の皆さん、そして保護者の皆様方、「入学おめでとうございます」。心よりお喜び申し上げます。そして、本日、この日を迎える事が出来ましたのは、皆さん方の強い思いと努力だけでなく、多くの方々のお支えがあったことを、決して忘れないでください。

さて、本校は、普通科、生物生産科、生活科学科、海洋技術科、海洋科学科の五つの学科に加え、専攻科を有する三校舎制の高校であります。各校舎にある恵まれた環境を活かして、キャンパスの枠を超えた学校行事や生徒会活動などの連携教育、とりわけ部活動では、専用バスで移動して一緒に活動するなど、三校舎が力を合わせて活動することにより成果が形となって表れています。

そうした活動の基盤となるのが、各校舎で行われる独自の教育活動です。大津校舎では、きめ細かな学習指導に力を入れ、希望する学部・学科への進路実現を図っています。さらに、多様な体験活動を通して将来の社会人としての成長につながる、他の普通高校にはない多様な教育実践も進めております。日置校舎では、農業や食物、ヒューマンサービスのスペシャリストの育成を目指し、六次産業化を見据えた取組を推進しています。さらに、直売所や農高祭などでの販売を通して食品の流通についても学んでいます。水産校舎では、船舶や漁業、海洋資源、食品のスペシャリストの育成を目指しています。また、ハワイへの遠洋航海、様々な地域との連携活動を行い、社会人として必要な実践力も身につけています。

さて、高校生活とは、学力や人間力などが飛躍的に伸びる「大いなる成長の機会」であります。そうした成長を後押しするエネルギー源として、私が考えることを三つ程お話しします。

一つ目は、「熱いやる気」です。高校生活を充実させるには、学力や技術があるだけではうまくいきません、その力を行動に変える「熱いやる気」が必要です。

二つ目は「凡事徹底」です。つまり、挨拶をする、提出期限を守るといった、当たり前前のごことを当たり前前にするということですが、これをきちんと継続するには高い意識が必要です。本校での生活は、そうした善き実践を自分のものにするための最良の時間です。

三つ目は「相談できる大人や友人を持つ」ことです。高校生活では、悩み、壁にぶつかることもあります。そうしたときに相談できる人がいることは、大きな助けとなります。また、世の中には優れた本がたくさんあります。是非、皆さん、今の自分にあった生き方の指針となる本も探して欲しいと思います。

ここで、保護者の皆様をお願いを申し上げます。私たち教職員は、お預かりしたお子様の進路実現を図り、立派な社会人となるよう、様々な教育実践を行います。その中で、ひとり一人の生徒の活動を見ながら、まさに「背中を押し、牽引するような教育活動」をし、一方で、教育的愛情を背景とした毅然とした指導も必要となります。それぞれのご家庭におかれましても、本校教職員と緊密に連携していただき、学校の方針をご理解の上、お子様の基本的な生活習慣の指導には格別のご協力をお願い申し上げます。

また、本校においても文部科学省の学校再開ガイドラインや山口県教委の通知等を踏まえて、新型コロナウイルス感染症対策を実施し、これからもお子様の健康を守り本校の教育活動が継続できるよう全力で取り組んでまいります。終わりになりますが、新入生の皆さんが、本校で有意義な高校生活を過ごし、次代を担うたくましい若者に成長することを願ひ、式辞といたします。

令和二年四月八日

山口県立大津緑洋高等学校長 原田治幸